



令和6年度

当初予算案等の概要



福岡市農林水産業・市場のシンボルマーク
「みのりん」

農林水産局



I 目指す姿・将来像(長期ビジョン)【福岡市農林業・水産業総合計画(令和4年度～8年度)】

- 福岡市の農業が目指す姿(30年後)
食べ物がおいしいまちを支え、農とともにある豊かな暮らしをつくる
- 福岡市森づくりの将来像(100年後)
みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり
- 福岡市の水産業の将来像(30年後)
世界に誇る！！「魚のおいしいまち・福岡」

II 令和6年度 方向性と重点的な取組み

方向性

持続可能な農林水産業を未来へ引き継ぐために

- 生産基盤の維持・整備
- 経営の安定化
- 担い手の確保
- 市内産農水産物のブランド化・消費拡大 を推進する。

重点的な取組み

各事業概要はP9～P14に記載

○持続できる強い農業の推進

- ・スマート農業チャレンジ農園
- ・未来へつなげる農村の担い手支援事業
- ・有機農業推進事業
- ・イノシシ被害対策事業
- ・地域計画(人・農地プラン)推進事業

○豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進

- ・花粉発生源対策関連事業

○水産物の安定供給及び就業構造の確立

- ・新規就業者採用体制づくり事業
- ・漁場環境の保全
- ・養殖モデル構築事業

○農水産物の消費拡大及びブランド化の推進

- ・次代へつなぐ地産地消推進事業
- ・アグリビジネスツアー事業

○農山漁村地域の振興及び都市との交流促進

- ・海業推進事業

○活力ある中央卸売市場の運営

- ・市場流通の促進
- ・鮮魚市場の機能更新・向上事業

Ⅲ 令和6年度 農林水産局予算案

(1) 総括

区 分	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	差引き増減額 (A-B)	主な増減理由
一般会計	94億3,785万円	96億3,185万円	△1億9,400万円	・油山市民の森等 リニューアル事業の終了 による事業費等の減
集落排水事業 特別会計	—	5億1,944万円	△5億1,944万円	・公営企業会計への 移行に伴う皆減
中央卸売市場 特別会計	56億 661万円	59億3,290万円	△3億2,629万円	・市場施設の維持及び 改修費用等の減
集落排水事業 会計	7億2,592万円	—	7億2,592万円	・公営企業会計への 移行に伴う皆増
局 計	157億7,038万円	160億8,419万円	△3億1,381万円	

(2) 重要施策と予算

重 要 施 策	令和 6 年度	令和 5 年度
1. 持続できる強い農業の推進	19億2,983万円	17億6,012万円
2. 豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進	4億 603万円	2億9,615万円
3. 水産物の安定供給及び就業構造の確立	22億4,052万円	20億6,614万円
4. 農水産物の消費拡大及びブランド化の推進	1億7,872万円	3,745万円
5. 農山漁村地域の振興及び都市との交流促進	12億3,243万円	16億5,376万円
6. 活力ある中央卸売市場の運営	34億6,178万円	35億9,194万円

IV 重要施策における主な事業

1. 持続できる強い農業の推進

多様な担い手の確保と育成を行うとともに、農業の生産基盤を整備し、農地の保全や農業用施設の維持活用を図る。

また、価格保証制度や地域資源活用への支援、イノシシ等の鳥獣被害対策などにより、経営の安定を図る。

(1) 多様な担い手の確保と育成

就農応援事業【410万円】

就農希望者を対象とした就農相談や研修等を実施

新規就農者育成総合対策【8,400万円】

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者を対象に、国事業を活用した支援を実施

新規就農スタートアップ支援事業【550万円】

新規就農者に対して、農業用機械・施設の取得経費を助成

拡充 地域計画（人・農地プラン）推進事業【1,619万円】

P 12 説明事業

アグリDXプロジェクト（スマート農業推進）【80万円】

スマート農業の普及拡大のための実証実験等を実施

新規 スマート農業チャレンジ農園【861万円】

P 11 説明事業

拡充 未来へつなげる農村の担い手支援事業【1,300万円】

P 11 説明事業

農福連携推進事業【268万円】

福祉事業所職員を対象とした農業研修や、農業者と福祉事業所とのマッチング等を支援

女性農業者育成支援事業【121万円】

女性農業者の育成を目的に農業技術や経営に関する研修等を実施

青年農業者対策事業【21万円】

市内の青年農業者で組織されている福岡市青年農業者連絡会の活動を支援

(2)農地の保全と生産基盤の整備

拡充 園芸産地育成事業【1億1,324万円】
県補助の活用等による省力栽培温室等の整備への助成

野菜・花き生産安定事業【932万円】
市内産野菜・花きの価格保証制度

畜産環境整備経営対策事業【576万円】
飼養施設整備や畜舎改造、優良家畜の導入等の支援

地域資源活用型農業チャレンジ事業【500万円】
地域資源を活用した肥料の利用拡大や飼料生産の取組みを支援

新規 **有機農業推進事業【465万円】** **P 11 説明事業**

農業用施設の整備等【5億1,454万円】
ため池、井堰、水路、農道等の農業用施設の老朽化に伴う保全工事等を実施

防災重点農業用ため池対策事業【3億890万円】
防災重点農業用ため池の安全性向上のための耐震調査や水位計の設置、ハザードマップの作成

耕作放棄地再生事業【109万円】
耕作放棄地を借り受ける農業者等が行う農地再生等経費への助成

鳥獣害防止総合対策事業【363万円】
農作物被害防止のための鳥獣捕獲活動経費の助成等

拡充 **イノシシ被害対策事業【5,234万円】** **P 12 説明事業**

2. 豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進

森林の適切な管理に向けた森林所有者への意向調査や森林整備等を実施するとともに、「伐って、使って、植える」森林資源の循環利用を進めることにより、花粉発生源対策に効果的に取り組む。

拡充

花粉発生源対策関連事業【2億4,158万円】

P9 説明事業

- ・ 花粉発生源対策事業【4,843万円】
花粉発生源であるスギ・ヒノキ林を伐採し、広葉樹への植替えを実施
- ・ 森林環境整備事業【3,077万円】
荒廃森林の整備等を実施
- ・ 市営林造林保育事業【4,920万円】
分収林の間伐等を実施
- ・ 林業資源ビジネス化プロジェクト【1,001万円】
間伐材の有効活用、路網整備を実施
- ・ 地域産材利用促進事業【1億316万円】
身近な森林資源の有効活用を促進するため、公共施設等の木材利用を実施

森林経営管理制度推進事業【3,396万円】

森林の適切な整備に向けた森林所有者への意向調査、森林境界明確化を実施

松くい虫防除による住環境保全対策事業【3,300万円】

防風・防砂や景観形成に重要な松林を対象に松くい虫防除対策を実施

林道長寿命化事業【544万円】

林道の橋梁について、定期点検、計画的修繕を実施

3. 水産物の安定供給及び就業構造の確立

海が豊かで多種多様な水産生物が生息できるような漁場環境の改善に取り組むとともに、漁業の生産基盤及び経営基盤の強化に取り組む。

また、水産業に携わる就業者の所得が向上するように、多様な主体との協働による養殖業を推進するとともに、水産資源を活用した直販や交流事業等への取組みを支援する。

(1) 漁場基盤整備及び水産資源管理

拡充

漁場環境の保全【4,304万円】

P 13説明事業

アサリ等資源再生事業【300万円】

博多湾でのアサリ資源保全活動への支援、アカガイの放流等

水産資源生育環境調査事業【180万円】

重要な漁業資源であるアサリ資源量を適切に管理するための調査

(2) 漁業基盤整備及び漁業経営の安定

漁場造成事業【1,000万円】

漁業生産の維持増大や漁家所得の向上等を図るため、生産基盤となる人工魚礁等を設置

漁港施設整備事業【1億7,991万円】

防波堤、護岸等の漁港施設の老朽化等に伴う保全工事の実施

漁協経営基盤強化対策事業【10億307万円】

漁協経営安定のための資金貸付

離島漁業再生生活動促進事業【1,023万円】

国の離島漁業再生支援交付金制度に基づく漁業再生生活動への助成

見て・来て・食べて・浜の活性化推進事業（直販事業）【200万円】

福岡市漁協が実施する直販事業などへの支援

新規就業者育成支援事業【296万円】

新規就業時における必要な資格及び漁業に必要な漁具等の取得経費への支援

拡充

新規就業者採用体制づくり事業【868万円】

P 13説明事業

(3) 養殖の推進

拡充

養殖モデル構築事業【3,178万円】

P 13説明事業

4. 農水産物の消費拡大及びブランド化の推進

市内産農水産物の学校給食等での活用による消費拡大・地産地消を推進するとともに、食の安全・安心に向けて生産現場における安全管理の啓発や食育を推進する。
また、市内産農水産物の特性を活かし、ブランド化に向けて取り組む。

(1)消費拡大、地産地消の推進

農畜産物消費拡大推進事業【228万円】

体験教室の開催や販売促進支援による市内産農畜産物の消費拡大の促進

新規 次代へつなぐ地産地消推進事業【1億1,063万円】

P 10 説明事業

農産物の安全・安心推進事業【60万円】

福岡県GAP認証取得に取り組む農業者に対して、認証取得に必要な経費の一部を助成

見て・来て・食べて・浜の活性化推進事業（地元水産物のPR）【975万円】

四季折々の旬の魚を使ったフェアの実施

(2)ブランド化の推進

食関連産業チャレンジ促進事業【300万円】

食関連産業における新たなチャレンジ創出に向けた実証実験などを実施

「ふくおかさん家のうまかもん」つながるプロジェクト【746万円】

「うまかもん」の認知度向上・利用促進に向けた認定店表彰等による情報発信等

農産物ブランド創出・販路拡大事業【990万円】

農産物の商品開発や販売促進などによるブランド創出及び国内外の販路拡大を支援

新規 アグリビジネスツアー事業【896万円】

P 12 説明事業

拡充 水産業ブランド推進事業【1,927万円】

シェフやバイヤーとの商談、国内外へのPR等、販路拡大の支援

発明！発見！ご当地水産物事業【314万円】

福岡を代表する新たな水産物の開発及び販路拡大等に係る経費を助成

国際認証（水産エコラベル）支援事業【88万円】

国際認証の取得・継続に必要な経費の一部を助成

5. 農山漁村地域の振興及び都市との交流促進

農山漁村地域の特性を活かした農林水産業の振興を図り、持続可能な農山漁村づくりに取り組む。また、農業の重要性や魅力など認識の共有を図り、市民への「農」に関する情報発信の充実に努め、農と都市との交流を促進する。

(1) 農山漁村地域の振興

農山漁村地域における農林水産業の振興事業【800万円】

農山漁村地域における新たな農林水産関連ビジネスの自走・定着に向けた支援を実施

海づり公園を活用した北崎地区活性化事業【4億687万円】

海づり公園のリニューアルに向け、料金所・事務所棟の整備等に着手

拡充 海業推進事業【2,334万円】

P 10 説明事業

(2) 都市との交流促進

市民農園拡大推進事業【160万円】

市内の農地を市民農園として開設する整備費の一部を助成

ふれあい施設の管理・運営、施設整備【4億4,245万円】

油山市民の森や油山牧場等のふれあい施設の改修工事等

(3) 農山漁村地域における快適な生活環境の確保

集落排水処理施設の管理・運営等【2億1,812万円】

排水処理施設の維持管理・機器更新、経営改善に向けた検討

6. 活力ある中央卸売市場の運営

安全・安心な生鮮食料品を安定的に市民に供給するため、鮮魚・青果・食肉市場の適切かつ効率的な管理運営や、市場施設の計画的な整備・改修による市場機能の強化等に努めるとともに、市場活性化に向けて、市場関係者と連携し取り組む。

(1) 市場の管理運営等

市場の管理運営等【33億5,674万円】

鮮魚・青果・食肉市場の管理運営、計画的な施設の改修や更新等

(2) 市場の活性化

市場流通の促進【2,289万円】

P 14 説明事業

鮮魚市場の機能更新・向上事業【8,215万円】

P 14 説明事業

V 令和6年度 重点的な取組み

豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進



【拡充】花粉発生源対策関連事業（2億4,158万円）

- ・花粉発生源対策事業（4,843万円）
- ・森林環境整備事業（3,077万円）
- ・地域産材利用促進事業（1億316万円）ほか

【森づくり推進課】

スギ・ヒノキ人工林の10年間で2割削減を目指して伐採を加速化するとともに、伐採した地域産材の利用拡大などの取組みを実施



快適で豊かな市民生活を支えている森林は市域面積の**3分の1**を占めており、そのうち、約**60%**がスギやヒノキなどの人工林となっている

伐る

人工林の伐採を促進！

広葉樹(クヌギ、ケヤキ等)
約5千本を再造林

- 国、県、森林組合等と連携・協力して伐採の加速化に取り組む
- 令和6年度は、約**80ha**の伐採を目指す
- 伐採後は**クヌギ等広葉樹**を中心に再造林



Before



After

城南区東油山での伐採(主伐)事例 (R2年度)

伐採対象となる31年生以上のスギ・ヒノキ人工林4,600haの約2割に相当

伐採木を活用



使う

地域産材の利用を拡大！

市産材を活用した木造・木質化

- アイランドシティで新設される**木造公民館**等へ地域産材を供給
- 木材利用の拡大に向け、**木材利用促進担当主査**を新設



(仮称)照葉はばたき公民館 (イメージ)



市産材活用事例 (西都北小 R5開校)

多面的機能を維持しつつ、

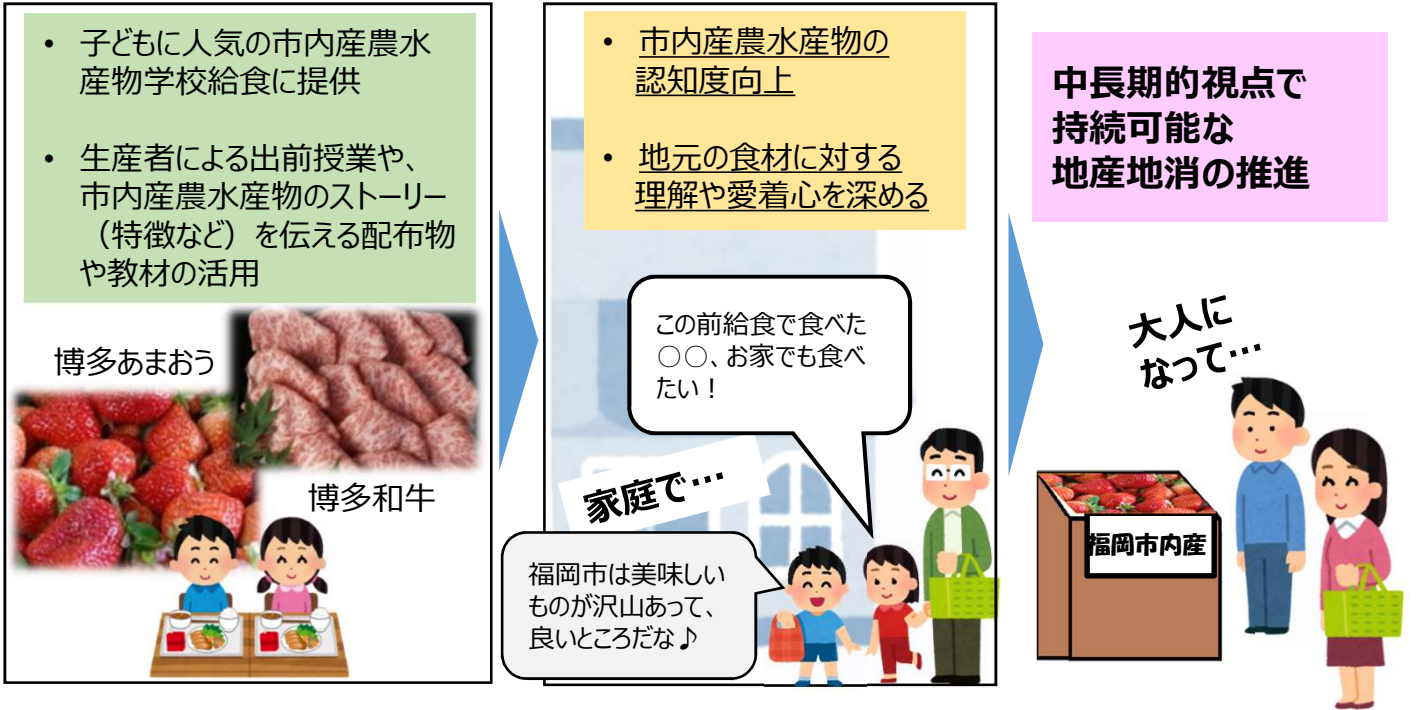
花粉発生源対策として「伐って、使って、植える」森林資源の循環利用を一層促進！

新規

次代へつなぐ地産地消推進事業 (1億1,063万円)

【政策企画課】

児童・生徒が興味関心を持ち、記憶に残る市内産農水産物を、旬やストーリーを踏まえ、学校給食に提供することにより、市内産農水産物に対する理解や愛着を深め、将来にわたって持続可能な地産地消を推進



拡充

海業推進事業 (2,334万円)

※海業推進の組織を新設

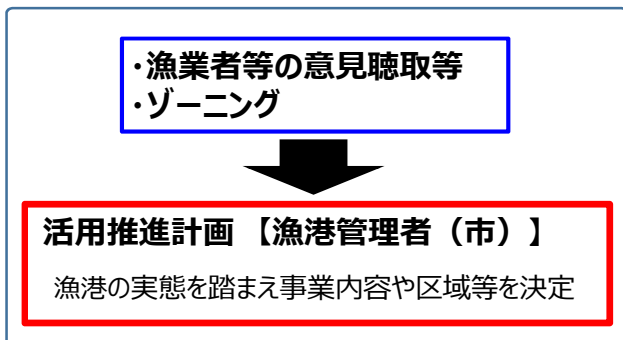
【漁港課】

海業の推進による漁村地域の活性化を図るため「活用推進計画」の策定に向けた取組みを実施

●令和6年度の主な取組み

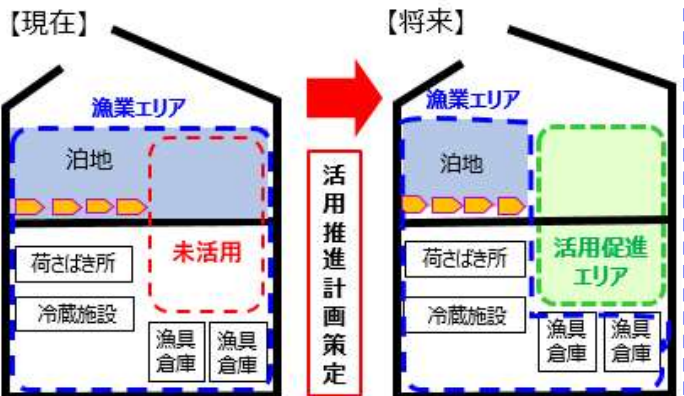
- 漁業者等の意見聴取等
- 漁業エリアと活用促進エリアへのゾーニング
- 活用推進計画の策定
- 地域の水産資源を活用したイベント等

●海業の推進に係る実施スキーム



※令和7年度以降、活用促進エリアを活用し事業者を募集

【海業推進のイメージ】



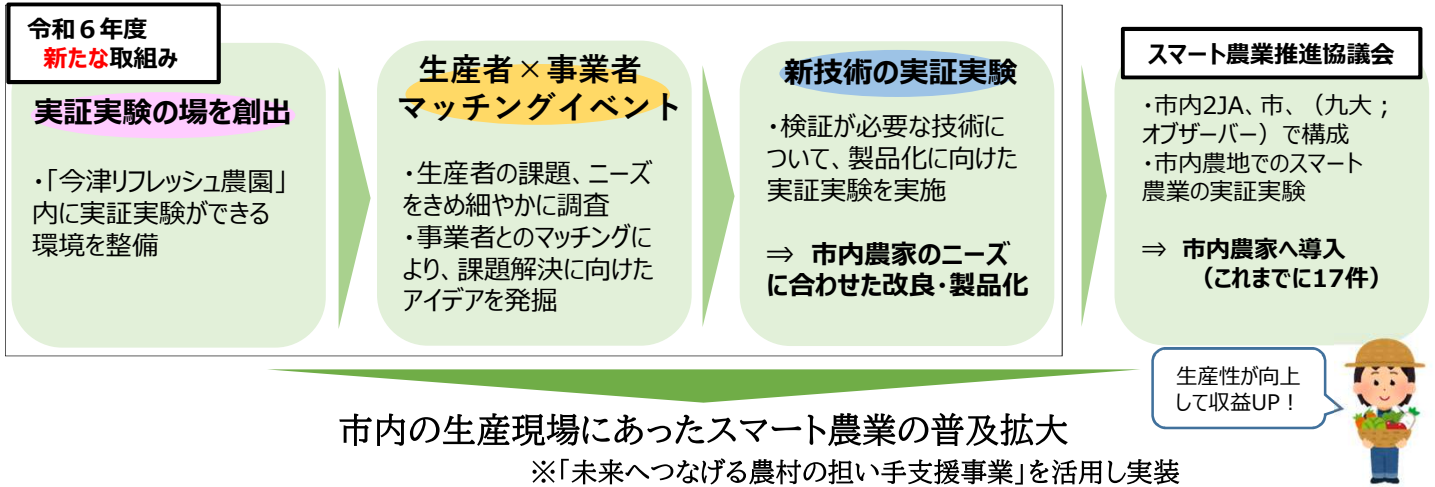
【海業（うみぎょう）とは】

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって地域の賑わいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの。国の規制緩和措置により、漁業者等の漁業利用に限定されていた漁港を、海業に取り組む事業者の利用が可能となった。

新規 スマート農業チャレンジ農園 (861万円)

【政策企画課】

市内農家のニーズにあった新技術の開発にチャレンジする事業者の実証実験等を支援



拡充 未来へつなげる農村の担い手支援事業 (1,300万円)

【農業振興課】

意欲ある担い手に対して、営農継続に必要なトラクターなどの大型機械や生産性向上に資するドローンなどのスマート機械等の導入を支援



新規 有機農業推進事業 (465万円)

【農業振興課】

環境に負荷をかけない持続可能な農業を目指し、農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備を実施

令和6年度の実施内容

- 新たに有機農業に取り組む農業者への支援
 - ・有機農業の研修会の実施
 - ・先進地事例調査
 - ・有機農産物の販売戦略の策定
- 市民・事業者への理解促進
 - ・有機農産物のPR活動 など

＜先進地調査・研修会の実施＞

＜有機農産物の販売・PR＞



※有機農業：化学肥料や農薬を使用しないことで、環境への負荷を低減した農業生産の方法

拡充

イノシシ被害対策事業（5,234万円）

【イノシシ等地域営農対策担当】

イノシシによる被害防止を図るため、被害対策の基本の3本柱である「個体群管理」「侵入防止対策」「生息環境管理」をさらに強化

令和6年度強化する取組み

【個体群管理（捕獲）】

- 猟友会・民間事業者による集中捕獲
- 生息数調査の実施

【侵入防止対策（防除）】

- 市独自の侵入防止柵導入支援の拡充

【生息環境管理】

- 地域ぐるみの生息環境管理支援の拡充

これまでの捕獲活動（箱わなの増設等）を継続しつつ拡充



※「鳥獣被害の現状と対策」（農林水産省）を加工して作成

拡充

地域計画(人・農地プラン)推進事業（1,619万円）【イノシシ等地域営農対策担当】

農業経営の拡大を図る担い手の確保や農地の集約方針など、将来の農地利用の姿を地域で話し合うため、耕作意向調査を実施するとともに、地域農業の将来のあり方を定める「地域計画」を策定

地域計画とは



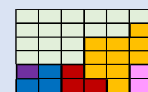
地域で話し合い

地域農業の将来について

- 現状と課題
- 地域で取り組む目標
 - ・地域外からの担い手の確保・育成
 - ・農地の集積・集約化 など



目標地図



およそ10年後
誰がどこの農地を利用
するのか等を定めた
農地利用の将来設計図

地域農業の持続的な
発展を目指す



農水産物の消費拡大及びブランド化の推進



新規

アグリビジネスツアー事業（896万円）

【政策企画課】

市内産農産物の消費拡大に向け、シェフやバイヤー向け生産地ビジネスツアー・商談会を実施

飲食店等へ 市内産農産物をPR

・市内産農産物の
個性的なエピソードや
魅力等を、飲食店等
のシェフやバイヤーに
PR
⇒ 飲食店による
市内農産物の魅力
の認知拡大



素敵な
エピソードを
広めたいな

生産地へのツアー・商談会

- ・市内産農産物に
興味を持ったシェフや
バイヤーを連れた
生産地ツアーを開催
- ・商談会を実施

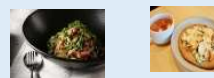


産地へGO



飲食店等での活用・販売

- ・飲食店等において、
市内産農産物を
活用



- ・様々な媒体で
積極的にPR



市内産農産物の
認知・消費拡大



【拡充】 新規就業者採用体制づくり事業（868万円）

【水産振興課】

新規漁業者確保のため、就業前支援を推進

■ R6年度の主な取組み

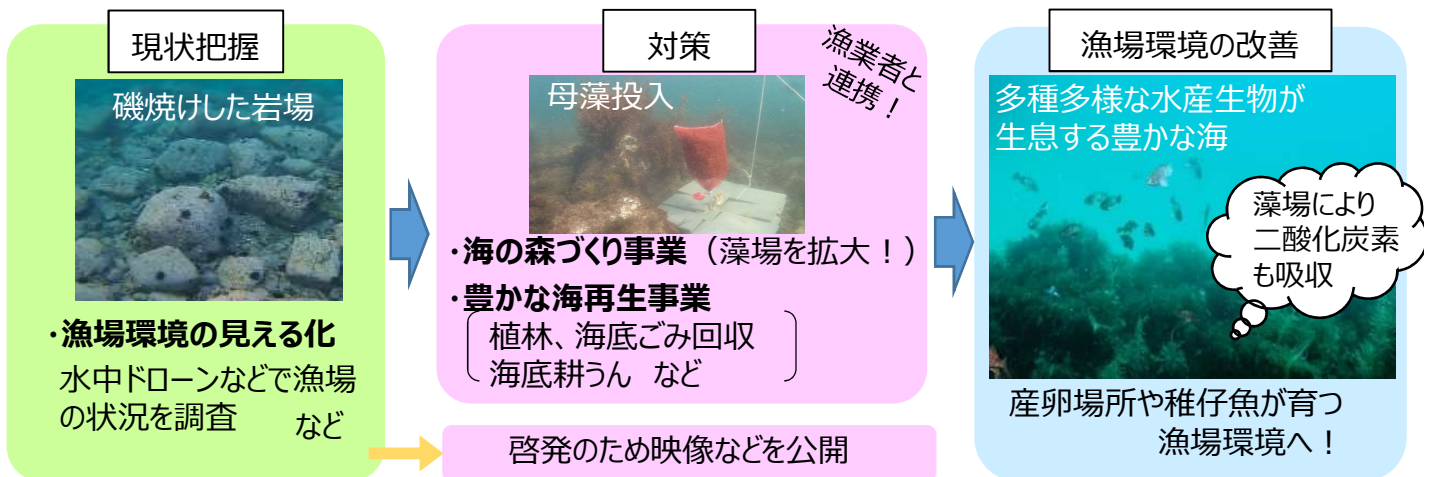
- ・就業希望者向けに漁業に関する情報を提供（パンフレット、動画作成）
- ・漁協内の採用体制構築に向けた調査（現状調査、研修プログラム作成など）



【拡充】 漁場環境の保全（4,304万円）

【水産振興課】

豊かな海にするため、漁場環境を改善



【拡充】 養殖モデル構築事業（3,178万円）

【水産振興課】

水産物の安定的な生産と供給のため、養殖モデルを構築

既存養殖の拡大

- ・カキの種苗販売に向けた中間育成体制を構築
- ・バスケットを用いた新たな手法によるカキ生産量の拡大試験を実施



新規養殖モデル構築

漁協の水槽を活用した陸上養殖試験を実施

- ・ウニ：志賀島・唐泊
- ・サザエ：唐泊
- ・アワビ：玄界島



活力ある中央卸売市場の運営



市場流通の促進（2,289万円）

【鮮魚市場・青果市場・食肉市場】

市場の活性化を図るため、市場開放イベント（販売や試食、体験イベント）など、市場関係者と連携して流通促進に向けた取組みを実施

鮮魚市場 （市民感謝デー）

<仲卸売場棟>



マグロの解体ショー

青果市場 （ベジフル感謝祭）

<市場会館>



青果物の販売

食肉市場 （食肉フェスタ）

<市役所西側広場>



食肉の試食・販売

<市場会館>



ちびっこすくい釣り

こどもお寿司握り

<卸売場棟>



バックヤードツアー

お肉の重量当てクイズ



鮮魚市場の機能更新・向上事業（8,215万円）

【市場整備担当】

鮮魚市場のさらなる活性化を目指し、市場関係者と連携して施設の機能更新・活性化施設整備を推進

① 市場施設の更新 … 市場機能の強化

- 老朽した施設を再配置しながら、建替・改修工事を実施中
- 市場関係者が主体となって、東冷蔵庫棟を建替え（令和6年度供用開始予定）

令和6年度の主な取組み

- ・施設更新（設計・工事、関係者調整）
- ・東冷蔵庫棟活用に向けた導入機能検討等

② 活性化施設の整備 … 消費拡大に向けた取組み

移転後の建物を活用
（民間活力を導入）

活性化施設の整備

民有地での市場関係者事業
市場直営の強みを活かした
魚食スポット



★ 令和6年度 先行して開業予定

連携

東冷蔵庫棟の活用

食に新たな価値を付加する
チャレンジ・交流拠点



（新冷蔵庫移転後 着手予定）

市民
感謝デー
（魚食普及イベント）



鮮魚市場のさらなる活性化へ

VI 令和6年度組織編成案

____ : 変更

現 行 (令和5年度)	編 成 案 (令和6年度)
※R5.4.1時点	※R6.4.1時点
3 部 13 課 137名	3 部 <u>14</u> 課 <u>140</u> 名
農林水産局	農林水産局
<ul style="list-style-type: none"> — 総務農林部 83 <ul style="list-style-type: none"> — 総務課 8 — 政策企画課 10 — 農業振興課 11 — 課長 ※イノシシ等地域 宮農対策 7 — 森づくり推進課 17 — 農業施設課 29 — 水産部 24 <ul style="list-style-type: none"> — 水産振興課 10 — 漁港課 13 — 中央卸売市場 29 <ul style="list-style-type: none"> — 市場課 7 — 鮮魚市場 7 — 課長 ※市場整備 7 — 青果市場 7 — 食肉市場(市場課長を充てる) 	<ul style="list-style-type: none"> — 総務農林部 <u>84</u> <ul style="list-style-type: none"> — 総務課 8 会計係の新設 — 政策企画課 <u>12</u> 主査※油山市民の森等 リニューアルの移管 — 農業振興課 11 — 課長 ※イノシシ等地域 宮農対策 <u>8</u> 主査※地域計画の新設 — 森づくり推進課 <u>15</u> 主査※木材利用促進の 新設 — 農業施設課 29 — 水産部 <u>25</u> <ul style="list-style-type: none"> — 水産振興課 10 — 漁港課 <u>11</u> — 課長 ※海業推進 <u>3</u> 課の新設 — 中央卸売市場 <u>30</u> <ul style="list-style-type: none"> — 市場課 <u>8</u> 主査※食肉市場更新 検討の新設 — 鮮魚市場 7 — 課長 ※市場整備 7 — 青果市場 7 — 食肉市場(市場課長を充てる)